

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

Amazon Messaging (SQS、SNS) サービスレベルアグリーメント

最終更新: 2022 年 5 月 4 日

本 Amazon Messaging サービスレベルアグリーメント（「SLA」）は、対象サービス（以下に記載）の利用に適用される方針であり、対象サービスを利用する各アカウントに個別に適用される。本 SLA の契約条件と、[AWS カスタマーアグリーメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約（「本件契約」）の契約条件の間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本 SLA の契約条件が適用される。本 SLA において使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、本 SLA で定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

対象サービス

- Amazon Simple Notification Service（「SNS」）
- Amazon Simple Queue Service（「SQS」）

サービスコミットメント

AWS は、対象サービスをそれぞれ、毎月の請求期間において、各 AWS リージョンで、99.9%以上の月間稼働率で利用可能にするため、商業上合理的な努力を行う（「サービスコミットメント」）。対象サービスのいずれかがサービスコミットメントを満たさない場合、利用者は以下のとおりサービスクレジットを受け取ることができる。

サービスクレジット

サービスクレジットは、月間稼働率が以下の表に示されている範囲に該当する月次請求期間について、当該 AWS リージョンの該当する対象サービスに対し利用者が支払った料金に対する割合として計算される。

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

99.0% □ □ □ 99.9% □ □ 10%

95.0% □ □ □ 99.0% □ □ 25%

95.0% □ □ 100%

サービスクレジットは、対象サービスについて今後請求される支払いに対してのみ適用する。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWS から返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレ

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

ジット金額が 1 米ドル(\$1 USD)を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、対象サービスの提供において、当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用者の唯一かつ排他的な救済は、本 SLA の契約条件に従いサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、AWS サポートセンターでケースを作成することにより、請求（リクエスト）を提出する必要がある。対象となるには、インシデント発生後、2 回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストを当社に提出しなければならない。

(i) 件名に「SLA Credit Request (SLA クレジットリクエスト)」という文言を入れること

(ii) 利用者がサービスクレジットを請求する対象の請求期間および AWS リージョン、当該請求期間における当該 AWS リージョンの所定の月間稼働率、当該請求期間を通して当該 AWS リージョンの可用性が 100%未満である場合の 5 分間のインターバルごとの具体的な日時および可用性の情報

(iii) 利用者が主張する停止のエラーを記録するリクエストログ（これらのログ内の機密情報または機微性の高い情報は削除するかアスタリスク(*)で置き換えること）

かかるクレジットリクエストに関する月間稼働率を当社が確認し、サービスコミットメント未満であった場合、当社は、クレジットリクエストが行われた月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすクレジットリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

Messaging SLA 例外事由

サービスコミットメントは、以下の場合（以下、総称して「Messaging SLA 例外事由」という）、対象サービスのいかなる利用不可状態、停止もしくは終了、またはその他の対象サービスのパフォーマンス上の問題にも適用されない。(i) 不可抗力事由または該当する対象サービスの責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的支配の及ばない要因に起因する場合、(ii) 利用者の自発的な行為または不作為（プロビジョニングされたキャパシティのスケールリング、セキュリティグループの構成ミス、VPC 構成またはクレデンシャル設定の誤設定、暗号化キーの無効化または暗号化キーのアクセス不能化など）に起因する場合、(iii) AWS サイトの該当する対象サービスの開発者ガイドに記載されたベストプラクティスに従っていないことに起因する場合、(iv) 利用者の装置、ソフトウェアもしくはその他のテクノロジーに起因する場合、または(v) 本件契約に従った、該当する対象サービスを利用する利用者の権利の停止または終了に起因する場合。

当社の月間稼働率の計算に明示的に使用される要因以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。

定義

- 「可用性」は、該当する対象サービスによってエラーが発生することなく処理され、プロビジョニングされた対象サービスのみに関連するリクエストの割合を、5 分間のインターバルごとに計算する。所

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

定の 5 分間のインターバルにリクエストを行わなかった場合、そのインターバルは 100%利用可能であると想定される。

- 「エラー」とは、500 または 503 のエラーコードが返されるリクエストをいう。
- 所定の AWS リージョンの「月間稼働率」は、月次請求期間におけるすべての 5 分間インターバルの可用性を平均して計算する。月間稼働率の測定では、Messaging SLA 例外事由（上に定義）に直接または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- 「リクエスト」とは、以下に関するものをいう。
 - SNS: Publish API の直接呼び出しによるか、サポートされているイベントソースによって引き起こされる、SNS への API リクエスト。
 - SQS: SQS の送信、受信または削除 API の呼び出し。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされる、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。